

令和元年5月1日発行

おかざき

# 議会だより

vol.

197

2019

3月  
定例会

「平成」から「令和」へ  
新時代の岡崎を創る予算を可決

- P02 代表質問
- P07 主な議案
- P08 委員会審査
- P10 採択請願、政府などへの意見書・決議
- P11 討論
- P12 審議結果
- P13 6月定例会予定
- P14 委員会調査報告
- P16 辞職勧告決議、健康基本条例(素案) 他

更に詳しい情報は  
岡崎市議会HPへ



# 代表質問

3月定例会では、市政の課題や重要事項などについて会派の代表者による質問を行いました。なお、本紙では、太字の質問項目の概要について掲載しています。より詳しい内容や他の項目については、市議会HPで公開している議事録及び議会映像で御覧いただけます。

## 自民清風会

- ・平成31年度当初予算
- ・将来を見据えたまちづくり
- ・地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
- ・健やかに安心して暮らせるまちづくり
- ・自然と調和した環境にやさしいまちづくり
- ・賑わいと活力あるまちづくり
- ・快適で魅力あるまちづくり
- ・未来を拓く人を育むまちづくり
- ・将来まで自律した状態が続く都市経営



## 民政クラブ

- ・平成31年度当初予算
- ・地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり
- ・健やかに安心して暮らせるまちづくり
- ・自然と調和した環境にやさしいまちづくり
- ・賑わいと活力あるまちづくり
- ・快適で魅力あるまちづくり
- ・未来を拓く人を育むまちづくり
- ・将来まで自律した状態が続く都市経営

## チャレンジ岡崎・無所属の会

- ・市長の政治姿勢
- ・教育長の教育行政
- ・市民生活・地域社会の充実
- ・保健・医療・福祉の充実
- ・環境共生都市の実現
- ・経済の振興
- ・都市基盤・生活基盤の整備
- ・教育・文化の振興
- ・自律した都市経営の実践
- ・2019年度当初予算編成

## 公明党

- ・第6次総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・2019年度与党税制改正大綱と本市の対応
- ・クレジットカードによる市税等の納付
- ・国の改正水道法と本市の水道事業の考え方

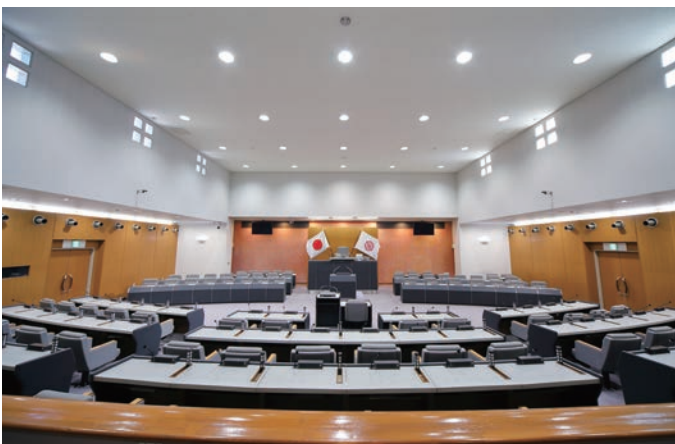
## 日本共産党岡崎市議団

- ・2019年度岡崎市予算編成
- ・市民の暮らしと福祉、健康を守る
- ・生活環境の整備、地域経済の振興で住みよい岡崎づくりを進めること
- ・憲法に基づく民主教育の原則を守り、教育、文化、スポーツ施設の充実を図ること
- ・自治権拡充、清潔で市民本位の行政改革を進めること
- ・平和行政に力を注ぐこと



## 代表質問とは

- ・会派を代表して行う質問のことです。
- ・岡崎市議会では、予算の審議や条例案などが多い3月定例会で代表質問を採用しています。





自明清風会

山崎 憲伸

### 地域で支えあい安全に暮らせるまちづくり

**問** 複雑化・大規模化する災害の対応や年々増加する救急需要に対応するための職員の配置や施設の改修が必要と考えるが、消防施設個別施設計画の策定の現況と将来需要を見込んだ消防施設の改修等の考えは。

**答** 消防業務の現状把握と将来需要を推計し、市民サービスの低下を招かないよう施設面の老朽化対策の手法を定めるなど、計画策定は最終段階に入っている。施設の改修については、管轄人口と救急隊の出場件数がほぼ正比例の関係にある状況と、将来的にも人口増加が見込まれる南部地域を管轄する南分署が老朽化かつ手狭であることから施設整備の検討が必要と考えており、今後は岡崎駅針崎若松土地区画整理事業区域内への移転を計画していきたい。

### 健やかに安心して暮らせるまちづくり

**問** 本市では福祉総合相談体制検討会議を設置して組織横断的に包括的支援体制の検討を進めてきたが、どのような体制を構築するのか。また、既存施設では手狭なように思うが、現執務室の利活用も含めた検討の必要性に対する本市の見解は。

**答** 福祉会館に福祉エリアと子供エリアを設けて関係部署の機能を集約し、各エリア及びエリア間の相談支援体制の構築や、地域課題の支援、解決に取り組み体制の構築を目指していく。また、福祉総合相談体制構築後は、身近な地域において分野を超えた課題に総合的に相談に応じる体制作りも検討し、全市的な福祉の総合的な相談体制を構築していく。現在、様々な施策を推進するために既存施設の利活用を全庁的に調整しているが、多くの部署や団体が関係することから、計画的に進めたいと考えている。

### 賑わいと活力あるまちづくり

**問** 太陽の城跡地で整備を計画しているコンベンション施設（※）の事業概要、特徴、期待する効果、今後のスケジュールは。

**答** 会議・式典等の会場となるホールや複数の会議室等の公共機能を有する施設を中心に、ホテルやカフェ等の民間施設と乙川の大空間を活用した民間事業を加えた公民連携による複合事業を計画している。また、本市の課題であった本格的なコンベンション施設を三河地域最大級規模で整備することで、経済・学術交流等を活発化し、地域経済の発展と未来を担う子供たちの新たな仕事作りにつながることを目標としている。2019年度に事業者の募集、2020年度から設計や工事を順次進め、2022年度末の供用開始を目標としている。



※会議、式典、レセプション、交流会等を行う施設の総称



民政クラブ

加藤 学

### 自然と調和した環境にやさしいまちづくり

**問** 汚水適正処理構想に基づき公共下水道及び農業集落排水による汚水処理施設の整備を進めているが、各事業の課題と今後の経営に対する本市の考えは。

**答** 公共下水道事業は下水道施設の老朽化が進んでおり、設備更新の必要な管渠やポンプ場等が数多く存在する。平成4年頃から集中的に整備を進めた結果、企業債の償還が多額となり厳しい経営状況であるため、効率的な管理及び計画的な整備を進める必要がある。農業集落排水事業は中山間地域という地形的な状況もあり、維持管理や設備更新等の費用が使用料で賄えない脆弱な経営基盤である。これらの課題に対処するため、施設の長寿命化と経費削減を図る経営戦略の策定作業を進め、安定した経営に努めていきたい。

快適で魅力ある  
まちづくり

**問** 水道事業の中期経営計画では、2020年度までに適正な経営管理を行うことを位置づけているが、経営状況と課題、今後の方針は。また、簡易水道事業は不採算地域が多く、恒常的な赤字経営となっているが、簡易水道と上水道を経営統合することへの検討状況は。

**答** 水道事業は、29年度までは良好な経営状況を維持していたが、30年度以降は旧男川浄水場の撤去費用等により一時的に目標値を下回るものの、大幅な悪化は生じないと考えている。施設の老朽化対策や耐震化事業等による財政負担が課題だが、優先度や重要度を踏まえて事業の平準化を図り、安全安心で持続可能な水道事業の構築に努めていく。簡易水道と上水道の事業統合については、現在検討を行っており、31年度末までに変更事業の認可を取得できるよ

将来まで自律した  
状態が続く都市経営

**問** 効果的に成果を得るためにはメリハリをつけた行政運営を実現することが重要である。新技術を取り入れて改善に努めている民間企業の事例が報道されているが、本市における人工知能（AI）等の新技術を活用するための実証実験や取り組みの状況は。

**答** AIを活用する取り組みは全国的に広がっているとされており、本市も既存の基幹システムを利用し、AIと同様に業務改革の手法として注目されているRPA（※）を活用する実証実験を行った。その結果、課題はあるが導入する価値は十分あると判断し、31年度の導入に向けた準備を進めている。費用対効果を確認しながら導入可能な分野の精査をし、活用を考えていきたい。



※ロボティック・プロセス・オートメーションの略称。従来人間が行ってきた定型的なパソコン操作をソフトウェアのロボットにより自動化するもの。



江村 力

保健・医療・福祉の充実

**問** 市民から選ばれる市民病院となるためには、優秀な医師の確保や他の医療機関からの紹介割合をふやす等の努力が必要だが、本市としてはどのような施策を考えているか。

**答** 従来の患者を待つ姿勢を反省し、各診療科の得意分野や先進的な設備、医療機器等の情報を発信するため、広報誌の発刊や市民講演会等への医師の講師派遣、医療機関からの要望の聴取、病院職員の接遇対応の確立に努め、当病院の認知度を高める機会をふやす努力をしている。優秀な医師を確保し、医療レベルの一層の向上を図るために医師の派遣要請を強めているが、本市への愛知病院の移管により、関連する診療科の派遣医局からは、これまで以上の医師派遣の確約を得ている。

都市基盤・生活基盤の整備

**問** 65歳以上の高齢者に対し、使用可能期間内であれば路線バス全線1乗車につき100円を支払うだけで乗車可能な得々バスの補助金を本市も導入してはどうか。運転免許証を返納した高齢者にとっては有効な交通手段になると考えるが、見解は。

**答** 現在、本市内でも民間バス事業者が得々バスのサービスを実施しているが、初期費用として、3カ月で5千円、6カ月で9千円、1年で1万5千円の購入費がかかるものであり、その影響もあるのか利用状況は芳しくない。高齢者の外出促進や運転免許証を返納した人の移動手段の確保といった問題が顕在化しているのは事実であり、得々バスの配布も含めた有効策について、引き続き関係部局と協議を重ね、検討を進めていきたい。



2019年度当初予算編成

**問** 本市の教育費は、27年度決算では145・9億円、28年度は122・2億円、29年度は1

19・9億円と3年連続で減少しているが、31年度予算の教育費はどのような考えで編成したか。

**答** 31年度の教育費は、30年度予算と比較して1・5%増の

130億4676万円を計上した。増額の主な理由は、幼児教育・保育の無償化による支援施設等利用給付費、大門小学校及び岡崎小学校の校舎整備、日本語初期指導教室や部活動指導員の新規配置、教員の多忙化を解消するための教員補助者の増員、タブレットパソコンの追加配備など、本市の未来を支える子供たちの教育は大切と考え、予算編成を行った。また、本来31年度予算に計上する予定であった小中学校のエアコン設置にかかる経費を3月補正で計上しているため、31年度決算は大きく増加するものと考えている。



公明党

畔柳 敏彦

第6次総合計画及びまち・ひと・しごと創生総合戦略

**問** 病児保育施設の整備及び運営に関する補助金が31年度予算に計上され、本市においても設置の実現に向けて進められるとのことだが、これまでに検討した経緯と今後の方針は。

**答** 保育児童の容体に変化が

あった場合に迅速な対応が可能な医療機関併設型による設備を念頭に置き、既に実施している自治体への調査や医療関係者への聞き取りにより検討を行ってきた。看護師等の人員、実施場所の確保、事業の継続性等が主な課題であったが、30年度に市内の小児科医から申出があったことから、31年度中に1カ所で開設できる見込みとなった。今後は利用状況を確認しながら、地域による利便性の格差が広がることのないよう必要な配置に努めていきたい。

**問** 数年前に大府市内で認知症高齢者の痛ましい事故が起きてから、本人や家族が損害賠償を請求された際の個人賠償責任保険を導入する自治体が増えており、本市は個人賠償責任保険を導入するための検討を行っているか。

**答** 大府市を初め、多くの自治

体が個人賠償責任保険の導入を検討していることは承知している。本市としては、まずは高齢者や認知症の人の命を守るために、認知症の理解を深めるための認知症サポーター養成講座や独り歩きの人を見守る認知症高齢者見守りネットワークの活用などの施策の強化が必要と考えている。また、事故にあった上に損害賠償を請求される遺族に対する支援策も必要だが、損害賠償を請求されるような事故は認知症の高齢者に限ったものではないとも考えている。本市としては、県内自治体の実施状況を参考にしながら、認知症の人やその家族などが安心して地域で暮らせるような支援策を検討していきたい。

**問** 本市では多くの民間バス路線が維持・確保されているが、最近ではバス事業者から運転士不足の問題が提起されており、バス路線維持への重要な課題と考える。既存のバス路線や地域内交通の整備に対する今後の方針は。

**答** 本市でも新たな交通手段に

関する検討を進めており、二つの地区ではバス協議会を立ち上げた。同協議会ではワークショップを行い、地域のニーズを把握しながら検討を進めている。バス事業者の運転士不足はまちバスについても同様であり、遅延が生じ定時運行が困難な状況の南北線では、ルートやダイヤの変更を検討している。今後は既存バス路線の改善や基幹軸の再検討を行うと共に、基幹軸を補完するような地域内交通や身近で利用できる交通手段の整備について、交通政策会議等で議論し、次期総合交通政策や地域公共交通網形成計画に反映していきたい。





日本共産党岡崎市議員  
鈴木 雅子

**市民の暮らしと  
福祉、健康を守ること**

**問**

夏休み中のこどもの家は、放課後児童健全育成事業や児童育成センター、一般利用の子供たちが汗だくで行動していた。熱中症が大変心配される環境であったが、どのような対策を行ったか。また、こどもの家にエアコンを設置すべきと考えるが、本市の見解は。

**答**

熱中症対策として、室温が35度を超える場合はレクリエーション室の使用を禁止すると共に、一部の施設ではあるがミストシャワーを試験的に導入した。エアコンの設置は必要と考えているが、本市全体の施設の設置状況を含めて、今後の検討課題と考えている。



こどもの家

**生活環境の整備、地域経済の振興で  
住みよい岡崎づくりを進めること**

**問**

バスやデマンドタクシーなど、本市の公共交通に関する今後の方向性をどのように考えているか。また、一定の効果があつた地区のモデルケースを市内全域に広げていくことについて、本市の見解は。

**答**

矢作地域で走っている路線バスは稼働率が悪いことから、見直しに合わせて、身近に利用してもらえる交通手段の可能性の説明を始めている。その他の地区でも、既に協議会が立ち上がり、アンケートをとって調整の段階になっている地区や、町単位で話がある地区もあり、今後研究していきたいと考えている。身近に利用できる交通手段として、全国的にはエアタクシーや乗合タクシー、県内ではスーパードライなど連携した高齢者向けの手段があるが、これらをもつても成功させて、プロトタイプとなって全域的に伝播していくようになればと考えている。

**問**

水道民営化について厚生労働省が作成したコンセッション方式の導入に向けた働きかけリストの中に本市が入っているが、国からの働きかけの状況や、リストの選定指標である実施方針の策定、厚生労働省の交付金や委託調査の活用、下水道のコンセッション方式の検討についての状況は。また、市民からは、民営化への懸念の声が上げられているが、独自運営の立場でいられるのか。

**答**

国からはコンセッション方式への働きかけはなく、リストの選定指標となった3項目については、コンセッション方式の導入を考えていないことから本市はいずれも実施していない。また、水道事業は新たに設置する事業管理者の確かな判断の下で、今まで以上に機動的かつ柔軟な事業運営によって将来に向けて安定した経営基盤を強化し、市民生活に不可欠な水道サービスの提供をする考えであるため、民間が主体となる事業運営であるコンセッション方式を採用する考えはない。

**▶ 障がいのある方の傍聴について**

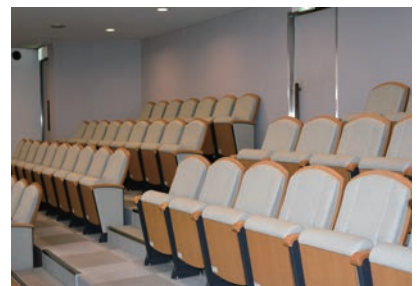
障がいのある方が傍聴をできるように以下のサービスを実施していますので、御利用ください。

- 手話通訳／要約筆記
- ヒアリングループ（磁気誘導ループ）設置
- 点字資料の提供

御利用に当たっては傍聴予定日の1週間前までに御予約ください。

**▶ 本会議傍聴時の託児について**

本会議傍聴時の託児サービスを実施しています。傍聴予定日2日前の16時までに御予約ください。



お問合せ先 議会事務局総務課 ☎23-6382 FAX23-6538

# 主な議案

本会議で提出された議案の説明を受けました。審議結果は、12・13ページに掲載しています。

## 条例議案

■阿知和地区工業団地造成事業特別会計条例の制定／阿知和地区工業団地造成事業の経理を明確にするため、特別会計を設置する。

■消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定／消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴い、使用料等の額を改定する。

■職員定数条例の一部改正／市立愛知病院の設立等による医療体制の充実及び火災の予防のための消防力の強化等のため、職員の定数の適正化を図る。

■学区集会所施設条例の一部改正／六ツ美北部学区市民ホームの位置を変更する。

■生活環境の美化の推進に関する条例の制定／現行の生活環境保

全条例から環境美化の部分を引き出し、生活環境の美化に関し、市、市民等、事業者等の責務を明らかにすると共に、ごみのポイ捨て、飼い犬等のふんの放置、路上喫煙等に関し必要な事項を定める。

## その他議案

■工事請負の契約の変更／籠田公園整備工事及びシビックコア地区整備推進事業ベデストリアンデッキ整備工事の契約を変更する。

## 30年度補正予算議案

一般会計補正予算では約43億3181万円の増額、特別会計では約18億2940万円の減額、企業会計では約4億6206万円の減額となった。

## ■一般会計補正予算

○総務費／財政調整基金積立金、公共施設保全整備基金積立金の増など約14億8227万円の増  
○教育費／施設購入費、土地購入費の増など約39億1211万円の増

## 31年度当初予算議案

31年度当初予算は、夢ある新しい岡崎を実現する予算と位置づけ、幼児教育・保育の無償化への対応や愛知病院との経営統合、藤田医科大学岡崎医療センターへの支援を初め、福祉、医療、防災、教育など、地に足をつけた政策をバランスよく展開するための予算を計上した。

一般会計は約1300億2000万円、特別会計は689億7521万円、企業会計は607億9695万円、総額は2597億9217万円となり、30年度当初

予算に対して7・6%の増となった。

■生活安心推進業務／30年の侵入盗認知件数が県内市区町村ワースト1位となるなど大変厳しい治安情勢が続いていることから、簡易設置型防犯カメラ50台を購入し、犯罪多発地域に一定期間、集中的に設置することで犯罪発生の未然防止を図る。また、地域への簡易設置型防犯カメラの設置により、防犯カメラの効果を実験してもらうことで防犯カメラの設置を推進する。

■救急医療拠点施設整備支援業務／本市及び西三河南部東医療圏における救急医療体制の充実を目指すし、2020年4月に開院予定の藤田医科大学岡崎医療センターの整備に対する支援を行う。

■岡崎小学校校舎整備業務／岡崎駅南土地地区画整理事業の進捗に伴い、児童数増加が想定される岡崎小学校の校舎を増築し、教室不足とならないよう整備を行う。

## 会計別当初予算

(単位:百万円)

会計名	予算額	対前年度比
一般会計	130,020	105.3%
特別会計	68,975	106.3%
企業会計	60,797	114.7%
計	259,792	107.6%

# 委員会審査

4常任委員会及び総合計画等検討特別委員会を開催し、付託議案の審査を行いました。主な内容は次のとおりです。

## 総務企画委員会

**財産の取得（阿知和地区工業団地造成事業用地）**

**問** 工業団地区域内の埋蔵文化財の発掘調査は、用地取得完了前に行うことができるのか。また、本事業の進捗状況は。

**答** 発掘調査を行うには、森林を伐採する前に土砂の流出を防止するための沈砂池や調整池の設置工事をする必要がある。分譲目標年度を設定しているため、9割以上の用地取得率や発掘調査に關係する用地の取得状況などにより、発掘調査を含め事業に着手していく予定である。現在は、物件調査、土地評価業務を発注し、用地買収の個別の条件を準備している状況である。

## 31年度一般会計予算

### 総務費

**問** 地域電力小売会社とはどのようなものか。また、クリーンセンターが事故等で電力を供給できない場合の対応、現在の売電価格及び事業の採算性は。

**答** 地域電力小売会社は、地域内の発電電力を最大限に活用して地域内の公共施設等に電力を供給するもので、本市は中央クリーンセンターと八帖クリーンセンターで発電した電力を買取り、市内公共施設へ供給することで、エネルギーの地産地消による環境に配慮した低炭素社会の実現を目指して設置するものである。また、事故等で発電ができない場合を想定して、新電力会社間での電力融通協定の締結などにより有事に備えると共に、日本卸電力取引所からの調達量をふやすことで供給電力を賄う予定である。29年度の中央クリーンセンターと八帖クリーンセンターの売電価格は約4億円であり、事業が軌道に乗り次第、利益を計上できると考えている。

## 福祉病院委員会

### 31年度一般会計予算

### 民生費

**問** 障がい者地域生活支援業務において、日中一時支援事業の対象者を拡大する目的は。

**答** これまでは未就学児を対象としていなかったが、31年度からは、児童発達支援センターを利用している未就学の障がい児、児童発達支援事業所と保育園等に並行して通園している未就学児を一時的に預かり、見守り等を行うことにより、その家族の就労支援を図ることを目的に対象者を拡大する。日中一時支援事業の対象者を拡大することで、未就学の障がい児の預かり先を見つけることが困難なために働く時間が制限される親がフルタイムで働けるようになることを期待している。



**問** スマートウェルネスシティ推進業務における、ウォーキングアプリ・マイレージ連携システムの内容は。

**答** 乙川リバーフロント整備地区等のウォーキングコースを活用して、GPSスタンプラリー等の機能を搭載した、楽しめ遊べるウォーキングアプリを導入して健康無関心層の取り込みを目指している。歩いてポイントを稼ぐと、アプリ内で健康・食育キャラクターまめ吉のアイテムをグレードアップしたり、アプリ上で市内の観光名所の情報を案内したりするなど、楽しめる機能をつけることを検討している。また、アプリと連携して、現在は紙で実施しているおかざき健康まめチャレンジのシステム化を行い、利用者の利便性の向上と事務量の軽減を図っていく。誰もが簡単に利用できる、費用対効果に優れているという3点を重要な視点とし、開発する予定である。



文教生活委員会

生活環境の美化の推進に関する条例の制定

**問** 条例を制定した意図と、ポイ捨てだけではなく路上喫煙も禁止する理由は。

**答** 生活環境保全条例から環境美化に関する規定を移行すると共に、ポイ捨てを抑制するため

に生活に密着する行為への規制等の規定を加え、新条例を制定するものである。路上喫煙を禁止する理由は、特に人が多く集まる名鉄東岡崎駅及びJR岡崎駅周辺ではたばこの吸い殻等がポイ捨てゴミの約8割を占めているため、多くの人が利用する道路等においてポイ捨て等防止重点区域及び路上喫煙禁止区域を指定するが、ポイ捨て等防止重点区域に指定して取締るだけでは効果が限定的であるため、路上喫煙という吸い殻ごみのポイ捨てにつながりやすい原因行為そのものを禁止し、抑制を図ることとした。

31年度一般会計予算  
総務費

**問** 簡易設置型防犯カメラ50台分の購入費を計上しているが、いつ、どのような場所に設置していくのか。また、設置する地区は決まっているか。

**答** 簡易設置型の防犯カメラは31年度早々に入札を行い、7月頃には設置が可能となる見込みである。設置場所は、犯罪多発地域へ集中的に一定期間設置することを考えているが、犯罪は場所を変えて発生することが多いことから、簡易的に設置及び取り外しができる利点を生かし、3カ月程度で次の犯罪多発場所へ機動的に設置していくことを考えている。設置地区は、簡易設置型防犯カメラ購入時に犯罪が多発している地区で導入していくため、現時点では特定していない。

経済建設委員会

31年度一般会計予算  
農林業費

**問** 林業活性化・6次産業化推進業務の背景と内容は。

**答** 本市の面積の6割を占める森林は、近年の木材価格低迷が増加している。森林の持つ公益的機能を保つためには、森林整備を推進すると共に、林業の活性化を図る木材の利用促進が重要となる。31年4月から森林経営管理法が施行され森林整備の推進が期待される中で、同時に木材利用促進についても取り組む必要性があることから、木材の新たな商品の開発、販売、販路開拓等を一貫して行う6次産業化の推進を図る可能性を探るため、31年度は地域商社設立の実現可能性について調査を行う。

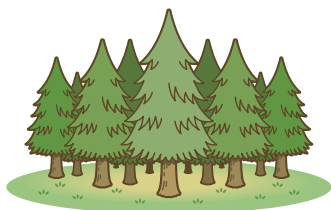
31年度水道事業会計予算

**問** 男川浄水場浄水施設の今後の解体計画と、金額の配分は。

**答** 旧男川浄水場は一級河川の乙川に近接しており、深い掘削を伴う一部の地下構造物の撤去作業は非出水期に限定されるなど、一定の制約の下で効率的に解体工事をしていく必要がある。30年度は、全体の約12%に当たる5700平方メートルを対象として敷地の西側から解体工事を行ったが、31年度も敷地の西側から浄水池や送水ポンプ施設などの土木構造物の撤去を主に行い、33年度までに残りの土木構造物や管理棟などの建築物を撤去する予定である。こうした工程を踏まえ、31年度に6億292万7000円を計上しており、解体に要する経費の総額は約21億5200万円になると見込んでいる。



防犯カメラ



解体中の旧男川浄水場

## 総合計画等検討特別委員会

## 総合政策指針条例の制定

## 条例議案の提出理由、また

## 第6次総合計画の基本構想と

## 総合政策指針の違いは。

## 答

23年の地方自治法の一部改正によって市の定める基本構想の議会の議決義務が廃止されたことに伴い、次期構想の策定の必要性や根拠など、総合計画のあり方について検討を進めてきた。また、総合計画等検討特別委員会からも策定時における議会の議決の必要性について条例で規定すべきと提言を受けたこともあり、議案を提出した。本条例は、従来の総合計画の基本構想部分に当たる総合政策指針の策定手続に必要な事項を定めるものであるが、多様化し、変化の激しい時代に迅速かつ柔軟に対応する必要性が高まってきたことから、戦略的・重点的な地域づくりの向かうべき方向を明示する指針として策定する。

## 採択請願

## ●岡崎市の保育所継続入所に関することについて

採択とした理由・意見を市長等に送付し、後日、処理の経過と結果の報告を求めるとしました。

## ●農協改革に関する意見書の提出について

下記意見書を可決したため、みなす採択とし、関係機関に意見書を提出しました。

## 政府などへの意見書・決議

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

## ●妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書

厚生労働省は30年12月に31年1月1日からの妊婦加算の凍結を告示すると共に、改めて中央社会保険医療協議会で妊婦が安心できる医療提供体制の充実や健康管理の推進を含めた総合的な支援を議論することとしているが、妊婦が安心して医療を受けられる体制の構築のために取り組むことを求める。

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、厚生労働大臣

## ●農協改革に関する意見書

J Aは組合員の民主的な協同組織であり、J Aのあり方を決めるのは政府ではなく、組合員が決定するものであるという協同組合の基本原則に沿った対応が望まれる。よって、信用事業譲渡及び准組合員利用規制の導入は、J Aの主権者たる組合員の判断に基づくものとするよう要望する。

提出先 衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、内閣府特命担当大臣（規制改革）、総務大臣、農林水産大臣

## ●天皇陛下御即位30年を祝す賀詞決議

天皇陛下におかれては、31年1月7日に御即位30年を迎えられた。岡崎市民ひとしく慶賀にたえないところである。岡崎市議会は、市民を代表して謹んで慶祝の誠を表す。

提出先 宮内庁長官

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

## 自民清風会

### 工事請負の契約の変更（籠田公園整備工事）

「掘削土内のコンクリートやれんが等の混入による運搬費用、処理費用の計上である。昭和54年から56年当時の施工記録が残っており、また当時の法律上は問題がなかったとのことだが、今回の工事においては現行の法律に従い、適正に処理することが必要である。新たな市民の憩いの場となる大切な公園であるため、順調な工事の進捗を望む」と意見を述べ、賛成した。

### 31年度一般会計予算

「病児保育施設の開設は大変喜ばしいことであるが、他の中核市の利用人数を見ると、本市も実施箇所をふやす必要を感じる。本市の

東部、北部、西部、中央と、地域性を考慮に入れた開設への働きかけを継続されたい。また、幼児教育・保育の無償化に関する項目が幾つもあるが、全て無料になると考えている保護者も多いと聞く。対象施設や事業、対象となる子供の年齢、無償化する内容等を初め、対象施設による利用制限額、給食費や延長保育等の無償化対象外となるものの内容も、併せて市民にわかりやすい告知をされたい」と意見を述べ、賛成した。

## 民政クラブ

### 31年度一般会計予算

「既存の本市工業団地は特に通勤時間帯の渋滞が激しく、住民から渋滞緩和を希望する声を多く聞く。今後進めていく阿知和地区工業団地ではしっかりとした渋滞対策をされたい」と意見を述べ、賛成した。

### 31年度水道事業会計予算

「旧男川浄水場浄水施設撤去に要する総経費は約21億5200万円と多額だが、いずれ解体する施設である。企業誘致を検討している

と聞いているため、解体を計画通りに完了されたい。耐震化・老朽化対策はまだまだ時間がかかる事業だが、毎年度着実に進むよう計画性を持って行うこと。少しでも耐震化率が向上するよう、今後の予算の増額も検討されたい」と意見を述べ、賛成した。

## チャレンジ岡崎・無所属の会

### 生活環境の美化の推進に関する条例の制定

「本条例を制定することにより、喫煙者と非喫煙者が協調し、共存できる環境が作られていくことを期待する」と意見を述べ、賛成した。

### 31年度一般会計予算

「部活動外部指導員は教員がついていなければ指導できないが、部活指導員は単独で指導できる。教員の負担軽減を考え、部活動外部指導員47人を、順次、部活指導員に切りかえることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

## 公明党

### 31年度一般会計予算

「消防指令センターでは、聴覚や言語機能障害の人に対して音声によらない緊急通報システム・NET119を新たに整備するとのことであり、情報のバリアフリー化が前進することを評価する」と意見を述べ、賛成した。

### 31年度介護保険特別会計予算

「認知症サポーターと認知症の人をつなぐためのステップアップ講座の開設は、地域包括ケアシステムを構築するためには重要な取り組みである」と意見を述べ、賛成した。

## 日本共産党岡崎市議団

### 都市公園条例の一部改正

「事業者が公園設備の費用負担を負わせるのは10%程度で、あえてパークPFIを導入する必要はない」と意見を述べ、反対した。

### 31年度一般会計予算

「コンベンション施設整備業務は採算の見通しが無い。本来に必要な施設が市民の意見を聞くべき」と意見を述べ、反対した。

(○賛成、×反対)

審議結果 3月定例会		採決結果	会派別賛否				
			自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡崎 無所属の会	公明党	岡崎日本共産党 市議団
件名							
<b>市長提出議案</b>							
1	財産の取得(阿知和地区工業団地造成事業用地)		○	○	○	○	×
2	包括外部監査契約		○	○	○	○	○
3	字の区域の設定		○	○	○	○	○
4	物品の貸付け(CATV施設)		○	○	○	○	○
5	工事請負の契約の変更(籠田公園整備工事)		○	○	○	○	○
6	工事請負の契約の変更(シビックコア地区整備推進事業ベデストリアンデッキ整備工事)		○	○	○	○	○
7	財産の取得(乙川河川緑地用地)		○	○	○	○	○
8	市道路線の廃止		○	○	○	○	○
9	市道路線の認定		○	○	○	○	×
10	総合政策指針条例の制定		○	○	○	○	×
11	阿知和地区工業団地造成事業特別会計条例の制定		○	○	○	○	×
12	消費税及び地方消費税の税率の引上げに伴う関係条例の整備に関する条例の制定		○	○	○	○	×
13	手数料条例の一部改正		○	○	○	○	×
14	水道事業及び下水道事業管理者の給与に関する条例の制定		○	○	○	○	○
15	職員定数条例の一部改正		○	○	○	○	○
16	職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×
17	職員の分限に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×
18	市議会の議員の議員報酬等に関する条例等の一部改正		○	○	○	○	×
19	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×
20	職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○
21	個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正		○	○	○	○	×
22	学区集会施設条例の一部改正		○	○	○	○	○
23	災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○
24	国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	×
25	動物総合センター条例の一部改正		○	○	○	○	×
26	幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例の制定	可決	○	○	○	○	×
27	児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例及び放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○
28	生活環境の美化の推進に関する条例の制定		○	○	○	○	○
29	生活環境保全条例の一部改正		○	○	○	○	○
30	岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計条例の制定		○	○	○	○	○
31	都市公園条例の一部改正		○	○	○	○	×
32	道路の占用に関する条例及び準用河川流水占用料等徴収条例の一部改正		○	○	○	○	×
33	水道事業の設置等に関する条例等の一部改正等		○	○	○	○	×
34	平成30年度一般会計補正予算(第7号)		○	○	○	○	○
35	平成30年度簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○
36	平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○
37	平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○
38	平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○
39	平成30年度介護保険特別会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○
40	平成30年度継続契約集合支払特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○
41	平成30年度額田北部診療所特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○
42	平成30年度こども発達医療センター特別会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○
43	平成30年度豊富財産区特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○
44	平成30年度宮崎財産区特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○
45	平成30年度形埜財産区特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○
46	平成30年度病院事業会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○
47	平成30年度水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○
48	平成30年度下水道事業会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○
49	平成31年度一般会計予算		○	○	○	○	×
50	平成31年度簡易水道事業特別会計予算		○	○	○	○	×
51	平成31年度阿知和地区工業団地造成事業特別会計予算		○	○	○	○	×

(○賛成、×反対)

採決結果	会派別賛否					
	自民清風会	民政クラブ	チャレンジ岡山 無所属の会	公明党	岡崎日本共産党	
<b>市長提出議案</b>						
52	平成31年度農業集落排水事業特別会計予算	○	○	○	○	×
53	平成31年度国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	×
54	平成31年度後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	×
55	平成31年度介護保険特別会計予算	○	○	○	○	×
56	平成31年度継続契約集合支払特別会計予算	○	○	○	○	○
57	平成31年度額田北部診療所特別会計予算	○	○	○	○	×
58	平成31年度こども発達医療センター特別会計予算	○	○	○	○	×
59	平成31年度岡崎駅東土地区画整理事業清算金特別会計予算	○	○	○	○	○
60	平成31年度母子父子寡婦福祉資金貸付事業特別会計予算	○	○	○	○	○
61	平成31年度宮崎財産区特別会計予算	○	○	○	○	○
62	平成31年度形埜財産区特別会計予算	○	○	○	○	○
63	平成31年度病院事業会計予算	○	○	○	○	×
64	平成31年度水道事業会計予算	○	○	○	○	×
65	平成31年度下水道事業会計予算	○	○	○	○	×
66	平成30年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○
同1	固定資産評価審査委員会の委員の選任	○	○	○	○	○
同2	教育委員会教育長の任命	○	○	○	○	×
同3	副市長の選任	○	○	○	○	×
同4	固定資産評価員の選任	○	○	○	○	○
<b>議員提出議案</b>						
議1	三浦康宏議員に対する辞職勧告決議	○	○	○	○	○
議2	妊婦が安心できる医療提供体制の充実と健康管理の推進を求める意見書の提出	○	○	○	○	○
議3	農協改革に関する意見書の提出	○	○	○	○	○
議4	天皇陛下御即位30年を祝す賀詞決議	○	○	○	○	○
<b>請願</b>						
請1	岡崎市の保育所継続入所に関すること	○	○	○	○	○
請2	農協改革に関する意見書の提出	○	○	○	○	○
<b>陳情</b>						
陳1	今上陛下御即位30年の賀詞決議	意見を付して議長に報告することとした。				

## 6月定例会予定

6月定例会の

請願・陳情提出締切りは、

**5月20日月**

です。

月	火	水	木	金	土	日
6/3 開会、市長提案説明、議案説明(一般質問)	4 一般質問	5 一般質問	6 一般質問	7 議案質疑、委員会付託※	8	9
10	11	12 常任委員会	13 常任委員会	14	15	16
議案検討						
17	18	19 議会運営委員会	20	21 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会	22	23

※質疑を行う議案等がない場合は、6月6日の一般質問終了後に委員会付託を行い、6月7日は休会日とします。

○一般質問の通告内容は、開会日までに市議会HPに掲載します。

○開会、一般質問、閉会の模様は、ケーブルテレビミクスで中継します。

また、インターネットでは開会、一般質問、議案質疑、閉会の中継を行います。

○各会議の開催時刻は午前10時の予定(常任委員会の開催時間、開催順序等は5月22日に決定)です。

特別委員会		
総合計画等検討		
12月25日	1 委員会の今後の取り組み 2 人口	第3・4委員会室
1月10日	次期総合計画	第3・4委員会室
2月13日	次期総合計画	議会大会議室
健幸まちづくり推進		
1月18日	(仮)健康基本条例	第3・4委員会室
1月28日	(仮)健康基本条例	第3・4委員会室
2月15日	1 本市の健康施策の取り組み 2 (仮)健康基本条例	第3・4委員会室

## 文教生活委員会

### 1月23日 相模原市安全に安心して自転車を 利用しようよ条例 【相模原市】

#### 調査内容

条例を議員自らが作り提案することを目標に大学院の政策法務講座を受講し、法制執務のあり方に関する知識の習得に努め、条例案を作成した。29年4月から地域団体・市民への説明会及び意見交換会を実施した後、12月議会に上程し全会一致で可決、12月25日に施行した条例に関する取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

相模原市は自転車保険を条例で義務化しており、30年の調査では加入率が一般市民43.3%、高校生51.9%であるが、本市は義務化しておらず中学校入学時にチラシを配布するのみである。また、相模原市では23年時点で3460台もの自転車道を整備している。市民を守る視点から保険の加入は100%必要であり、委員会として討議を進める中で取り組み方針を検討したい。



#### その他の調査事項

- 1月24日 みんなで育てよう はちおうじっ子【八王子市】
- 2月13日 自転車の安全対策

議会運営委員会		
2月19日	3月定例会の運営	議会大会議室

議会広報委員会		
12月21日	議会広報委員会の運営	第3・4委員会室
1月9日	1 議会だより第196号の発行 2 議会広報委員会の運営	第3・4委員会室
1月15日	1 議会だより第196号の発行 2 議会広報委員会の運営	第3・4委員会室
1月29日	議会だより	第3・4委員会室

## 経済建設委員会

### 1月25日 原山公園再整備基本計画【堺市】

#### 調査内容

堺市は、屋外プールや新規設置の屋内施設に合わせて公園全体を再整備し、子供から高齢者まで誰もが健康づくりを楽しむきっかけをつくる公園をコンセプトにPFI手法を導入した。公園全体の維持管理運営を含め、民間事業者の意欲や創造的な提案を求めて整備を行うこととした取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

PFI手法により管理・運営をしており、公園設計にも民間の知恵が上手に盛り込まれている。公園利用者数が年間10万人以上と聞き、それだけの魅力があると理解した。また、駐車場設備や照明設備についても民間の経験が盛り込まれていた。本市は住みやすい町と市民から高く評価されているが、南公園再整備が計画される中、この機会に本市にふさわしい施設となることを大いに期待したい。



#### その他の調査事項

- 1月24日 姫路城を中心とした観光振興【姫路市】
- 2月14日 六斗目川改修事業 【現地(市内)】

# 委員会調査報告

(12月定例会終了後～2月)

現在、市議会では四つの常任委員会と二つの特別委員会、議会運営委員会、議会広報委員会を設置しています。

常任委員会は、定例会の開会中には付託議案の審査を行う他、閉会中も所管事項に関する調査、市内外への行政視察調査を行っています。今回は、各常任委員会の調査事項をお知らせします。

視察調査報告書の詳細は、市議会HPに掲載していますのでぜひ御覧ください。

## 総務企画委員会

### 1月22日 ドローンを活用した取り組み 【あきる野市】

#### 調査内容

あきる野市がドローンを導入することとなったきっかけ、市のドローン所有数、活用方法、操作人員や人材の育成等の取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

あきる野市は自然災害対応や鳥獣害被害対策、観光分野での活用など様々な取り組みでドローンの活用を進めている。災害時には企業との災害時協定ではなく、自前でも迅速な対応がとれるよう人材育成にも取り組んでいる。公的な免許制度のない中、市役所内の希望者が講習を受け、ドローンを運用できる人材を育成している。今後は本市も土砂災害等の自然災害時のドローン活用の研究と、民間も含めた適切な操縦者の育成支援、官民併せたドローンを活用できるルール作り、市民の理解促進に取り組む必要性を感じた。



#### その他の調査事項

- 1月23日 働き方・仕事の進め方改革推進プログラム【川崎市】
- 2月15日 まち・ひと・しごと創生総合戦略

## 福祉病院委員会

### 1月24日 家でも学校でもない 第三の居場所づくり 【尾道市】

#### 調査内容

尾道市は子供の貧困対策プロジェクトチームを設置し、組織を超えた横断的な検討を開始した。29年7月から学習支援事業に取り組み、日本財団の子供の第三の居場所づくり事業も併せて活用していることからこの取り組みについて調査を行った。

#### 委員長所感

尾道市自ら市内の生活実態調査を行い、子どもに対する負のインパクトの影響についてデータを持って進めてきたことを評価する。利用対象を貧困家庭の就学児童1年生から3年生までと絞っていることも説明を聞き理解した。当初、「居場所づくり」とは門戸を広げて様々な子供を受け入れているのかと思っていたが、一般市民への公募などを一切行わず、子供の貧困対策を業務目的に絞り込んだほうが、市として望ましい姿だと感じた。



#### その他の調査事項

- 1月23日 ふくし総合相談窓口 【たつの市】
- 2月12日 愛知病院の経営移管

## 三浦康宏議員に対する辞職勧告決議

三浦康宏議員は、市議会議員という公職にありながら、平成25年から28年にかけて不適切な行為、発言を繰り返し、28年当時岡崎市民及び岡崎市議会に対して事実と異なる説明を行ってきた。市議会議員は、公正かつ厳正な選挙により市民の信託を受け、その議員活動により住民の代表として市民の生活福祉の向上に常に努めるべき職責を有しており、今回の言動は、厳粛な議会の信頼と名誉を大いに失墜させたものである。このことは、市民全体の奉仕者として公正かつ清廉を基本姿勢とし、高い政治倫理意識に徹することを定めた岡崎市議会基本条例第8条に抵触するものであり、岡崎市議会として決して看過できるものではない。よって、岡崎市議会は、同議員に対してみずからその責任を重く受けとめ市議会議員を辞職するよう勧告するものである。以上、決議する。 31年3月22日

※3月定例会最終日に、上記決議を全会一致で可決しました。なお、決議に先立ち31年3月6日に岡崎市議会政治倫理委員会は三浦康宏議員に対して辞職勧告の措置を決定し、通知しています。

## 健康基本条例（素案）に御意見をお寄せください！

健康は、いつの時代であっても何物にもかえがたい財産で、人々の生涯にわたる大きな願いであり、希望あふれるまちづくりの礎となるものです。そこで、本市議会では、健幸なまちづくりの推進を図るため、29年11月に「健幸まちづくり推進特別委員会」を設置し、調査・研究を行う中で、条例の制定が必要と考え、協議を重ねてきました。この度、条例の素案がまとまりましたので皆さんにお知らせし、意見を募集します。

### ■意見の募集期間■

5月20日(月)～6月20日(木)

### ■意見の提出方法■

住所、氏名または団体名、連絡先を記入し、直接持参・郵送・Eメール・ファクスのいずれかで議会事務局議事課へお願いします。

〒444-8601岡崎市議会事務局議事課（西庁舎2階）

Eメール gikaigiji@city.okazaki.lg.jp FAX 0564-23-6538

### ■条例（素案）の閲覧・配布場所■

市政情報コーナー（西庁舎1階）、議会事務局議事課、市議会HPで御覧いただけます。また、市政情報コーナー、議会事務局議事課、各支所、げんき館情報ライブラリーで資料の配布を行います。

### 条例（素案）の概要

#### 目的

健康づくりに関する基本的なあり方を定めるとともに、市民・市・議会の責務を示すことにより、誰もが健康づくりに取り組む意識を醸成し、市民一人一人が健康な社会の実現を目指します。

#### 基本理念

市民一人一人が自らの健康に関心を持ち、主体的に健康づくりに取り組むとともに、市民・市・議会が関係団体と連携を図ることにより、まちづくりと一体となって健康づくりに取り組みます。

#### 健康に配慮したまちづくりの推進

健康づくりの視点をまちづくり施策に取り入れ、展開することにより、健康に配慮したまちづくりを推進します。

## 議員の辞職及び会派解消のお知らせ

木全昭子議員が3月27日付けで辞職しました。これに伴い、日本共産党岡崎市議団が会派解消となりましたので、会派数は四つとなっています。

議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課（☎23-6971・FAX23-6538）までお問合せください。

議会 ダイヤル ☎	自 民 清 風 会	☎23-6390	
	民 政 ク ラ ブ	☎23-6394	
	チャレンジ岡崎・無所属の会	☎23-6364	
	公 明 党	☎23-6396	
	無 所 属	日 本 共 産 党	☎23-6397
		無 所 属	☎23-6524
議 会 事 務 局	☎23-6377		